

〔食中毒にご注意を〕飲食店で生の肉を食べる際には、生食用として適切に加工が行われていることを確認しましょう。

地域で見守る みんなで防ぐ 高齢者虐待

高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らすために

休みなく続く介護をする家族の負担は考える以上に大きなものです。責任感や介護の疲れなどから虐待が始まってしまつケースも少なくありません。深刻化する高齢者虐待を未然に防ぐためにも、一人で介護を抱え込まないこと、そして周りの人が介護者の負担を知り、温かい言葉をかけ、具体的に手を差し伸べてあげることが大切です。

高齢者虐待の危険サイン

これか一つでもあてはまる場合、虐待の疑いや恐れがあります。

- ・身体に傷やアザがある
- ・急におびえたり、恐ろしがる
- ・体重が短期間に極端に減少する
- ・自傷行為がある
- ・人目を避け、一人で過ごすことが増える
- ・自由に使えるお金がないと訴える
- ・住居や身体が不衛生で異臭がする
- ・悲鳴や怒鳴り声がある

高齢者虐待防止のために…

「見守り、気づき、助け合い」

誰もがいずれば高齢者になります。虐待は決して他人事ではありません。自分から「助けて」と言えない方がたくさんいます。みなさんの温かい見守りが虐待予防に繋がりますので、無関心にならず、高齢者や高齢者を介護する家庭を孤立させないようご協力をお願いします。一人ひと

りの「気づき」が高齢者の人権や健康を守る大きな力になります。

悩みを抱え込まないで…

まず相談!!

もしかして虐待？介護のストレスで限界。どうすればいいの？など、一人で抱え込まずお気軽にご相談ください。

【高齢者虐待相談先】

●保険課 介護保険係

☎(56) 9102

●上三川町地域包括支援センター

☎(56) 5513

▼対応時間等＝

月曜～金曜(祝日除く)

午前8時30分～午後5時15分

▼問い合わせ先＝

保険課 介護保険係

☎(56) 9102

平成25年度 保育所入所児の受け付けを開始します

▼受付期間＝9月3日(月)～28日(金)(土・日・祝日を除く)

▼受付時間＝午前8時30分～午後5時15分(正午～午後1時を除く)

▼提出書類＝入所申込書、勤務証明書(自営申立書)、給与所得の源泉徴収票(平成23年分)、保育料口座振替依頼書、その他必要書類 ※母子健康手帳を持参願います。

▼保育時間＝標準的な保育時間は、一日あたり8時間となっていますが、保育所の開所時間は保育所ごとに決まっています。また、勤務の関係で延長を希望する場合は、各保育所へ問い合わせてください。

▼保育料＝父母等の所得税、町民税等により決定されます。

▼保育所入所基準＝家庭において保育できないこと。

・ 昼間児童と離れ、家事以外で労働しているため。

・ 妊娠中であるか、又は、出産後間もないため。(ただし、産休期間)

・ 病气、怪我のため、又は、精神、身体に障がいがあるため。

・ 長期の病气、又は、身体に障がいのある家族を介護するため。

・ 火災などの災害が起き、復旧のため。

※なお、入所の選定基準は次の優先順位で決定します。

①すでに保育所に入所している、継続して入所を申し込むもの。

②申込みする児童の兄弟・姉妹が、継続して入所を申し込んでいるもの。

③すでに保育所に入所している、別の保育所への入所を申し込むもの。

④保育所入所決定検討調査票(家庭の状況を調べるものです)に基づく合計点数の高いもの。

⑤申し込み時期が早いもの。

▼問い合わせ先＝福祉課 児童福祉係

☎(56) 9130



●不活化ポリオワクチン個別接種のお知らせ● 接種回数：初回接種(3回)、追加接種(1回)

平成24年9月より、ポリオ予防接種に使用されるワクチンが、生ワクチンから不活化ワクチンに代わり、集団接種から医療機関における個別接種となりました。生ポリオワクチンを既に2回接種した方は、接種は完了していますので、不活化ポリオワクチンの接種は必要ありません。

不活化ポリオワクチンは、過去のポリオワクチン接種歴により、接種回数異なります。生ポリオワクチンを1回接種した方は、医療機関で不活性化ポリオワクチンを3回接種することとなります。

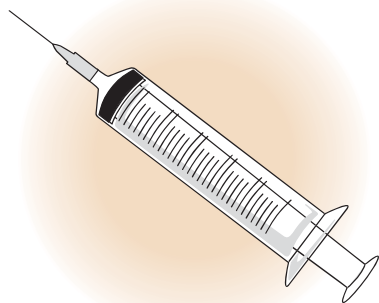
なお、4回目の追加接種については、平成24年9月1日現在では有効性・安全性が検証中であることから、定期接種(無料)として受けることはできませんので、ご注意ください。有効性・安全性が確立された時点で追加接種も定期接種として位置づけられる予定です。

不活化ポリオワクチン接種の詳細につきましては、8月下旬、対象となるお子さまに個人通知にてお知らせをしていますので、通知をご確認ください。

また、国では、現在実施している3種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風)と不活化ポリオワクチンを混合した4種混合ワクチンを、11月の導入に向け準備を進めております。なお、乳児が百日せきにかかると、重症化し命に関わることもあることから、3種混合ワクチンの接種を遅らせることは危険です。4種混合ワクチンの導入を待つことはせず、単独のポリオワクチンと3種混合ワクチンを接種することをお勧めいたします。

▼問い合わせ先＝健康課 母子健康係 ☎(56)9132

【食中毒にご注意を】生の肉・魚・卵を取り扱った後には、よく手を洗いましょう。



サマースクール保健学習

～自分を大切にすることは自分の生き方を大切にすること
相手を大切にすることは相手の生き方を大切にすること～

8月2日(木)、上三川いきいきプラザにおいて、中・高生を対象に性に関する講話や赤ちゃんふれあい体験を中心とした保健学習が行われました。性について学び、「命の大切さ」や「自分の生き方」について考えました。

生徒たちは、自分が生まれたときのことや子どもの頃の話を家族から聞いた上で、実際に育児をしているお母さんから話を聞いたり、赤ちゃん抱っこ体験をしました。5人の妊婦さんや19組のお母さん・赤ちゃんとふれあい、「赤ちゃんがかわいくて、自然と笑顔になれた」「お母さんって、すごい」といった感想が聞かれました。赤ちゃんと接する機会があまりない生徒も多く、妊婦さんのおなかに触れたり、赤ちゃん抱っこ体験は、「命のあたたかさ」や「命の重み」を感じる貴重な体験となりました。ボランティアのみなさん、ご協力ありがとうございました。



中高生の保護者のみなさん

思春期は「自分探し」と「自分づくり」の時期です。自分の考えが出てきて、親への自己主張を始める「反抗期」の時期でもあります。思春期の反抗期は自分作りのために必要な過程であり、一人前になるために大切な過程ですので、不安で揺れ動く子どもの気持ちを受け止めてあげてください。

▼問い合わせ先＝健康課 母子健康係 ☎(56)9132